

平成 21 年 10 月 27 日

各位

会社名：川崎汽船株式会社
代表者名：代表取締役社長執行役員 前川 弘幸
(コード番号 9107 東証第一部)
問合せ先：経営企画グループ長 園部 恭也
(03 - 3595 - 5594)

業績予想との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 7 月 27 日に公表した平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想(連結)と比較して、本日公表の決算において差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 3 月期の通期連結業績予想及び通期個別業績予想並びに配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想(連結)との差異

(1) 第 2 四半期累計期間業績予想との差異(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	第2四半期累計期間				
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 21 年 7 月 27 日公表)	百万円 400,000	百万円 -41,000	百万円 -44,000	百万円 -33,000	円 銭 -51.79
実績値(B)	400,458	-42,499	-49,875	-43,258	-67.90
差額(B-A)	458	-1,499	-5,875	-10,258	-16.11
差額率(%)	0.1%	-	-	-	-
(ご参考)前期連結実績 (平成 20 年 9 月期)	735,111	74,729	75,136	51,156	80.29

(2) 修正の理由

昨年後半からの世界経済の急速な減速に伴い海上貨物荷動量も急減しましたが、それも第 1 四半期に下げ止まり、当第 2 四半期後半からは徐々にではありますが事業環境は好転の兆しを見せております。然しながら、燃料油価格の高騰と円高ドル安が収支のマイナス要因となり、収益は予想を下回りました。当社は業績悪化が激しいコンテナ船事業の収支建て直しを図るため、来期以降の収支改善に繋げるべく既発注のコンテナ船新造契約の解約、傭船の期限前解約等にもなう構造改革費用を計上したこともあり、第 2 四半期累計期間の営業損失及び経常損失並びに当期純損失は前回発表予想を上回りました。

2. 平成22年3月期通期業績予想の修正

(1) 修正の内容(連結)

1) 通期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	通期				
	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年7月27日公表)	百万円 870,000	百万円 -35,000	百万円 -42,000	百万円 -31,000	円 銭 -48.65
今回修正予想(B)	810,000	-59,000	-71,000	-79,000	-123.99
増減額(B-A)	-60,000	-24,000	-29,000	-48,000	-75.34
増減率(%)	-6.9%	-	-	-	-
(ご参考)前期連結実績 (平成21年3月期)	1,244,317	71,603	60,010	32,420	50.89

(2) 修正の内容(個別)

1) 通期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	通期				
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年7月27日公表)	百万円 650,000	百万円 -50,000	百万円 -42,000	百万円 -29,000	円 銭 -45.48
今回修正予想(B)	600,000	-67,000	-63,000	-62,000	-97.23
増減額(B-A)	-50,000	-17,000	-21,000	-33,000	-51.75
増減率(%)	-7.7%	-	-	-	-
(ご参考)前期個別実績 (平成21年3月期)	960,108	24,612	20,762	799	1.25

(3) 修正の理由

第2四半期累計期間の収益が前回の予想から悪化したことに加え、下期は燃料油価格の高騰や円高傾向による収支悪化要因もあり、残念ながら通期業績の見通しも前回発表より悪化する見込みです。世界経済も漸く回復の兆しを見せており、下半期の事業環境としては、ドライバルク市況は底堅く推移し、自動車船の積高も回復しつつあり、コンテナ船の運賃率も一定の修復が見られるなど明るい材料もあります。当社はコンテナ船事業の収支改善が喫緊の課題であるとして、既発注の新造コンテナ船の解約、傭船契約の期限前解約等、来期以降の業績改善に繋げるべく構造改革費用を計上したこともあり、連結及び個別の通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

3. 平成22年3月期第2四半期末配当実績及び期末配当予想の修正

(1) 実績及び修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (平成21年7月27日公表)	0円00銭	(未定)	(未定)
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績(平成22年3月期)	0円00銭		
前期実績(平成21年3月期)	13円50銭	0円00銭	13円50銭

(2) 修正の理由

第2四半期末配当につきましては、本27日の取締役会にて、前回予想から変更なく、無配とすることを決議致しました。期末配当予想につきましては、前は未定としておりましたが、前述のような事業環境及び業績予想の修正を踏まえ、誠に遺憾ながら見送らせていただく予定に期末配当の予想を修正致します。

以上